

度けを受けていること。16日に建設予定地で現地見学会を開く。

提案のテーマは▽各施設

を設計候補者、第2位を次点候補者にする。5者以下の場合には全ての応募者をプロポーザルの提案者とす

具内唯一の情報提供施設となる情報センターには音

改築に合わせて幼稚部を新設する。

着工、24年度上半期の完成を目指す。工費は約41億6000万円を見込んでい

と述べ、合格者をたたえた。合格者を代表して1級建築士の藤澤亮太さん、2級建築士の長瀬智美さんに、真田校長が修了証を授与した。藤澤さんは「講師やスタッフの皆さんのサポートのおかげで合格できたことに感謝したい」、長瀬さんは「学院で培った知識をこれからの業務に生かしていきたい」とそれぞれ話した。

来賓で出席した北海道建築士会の石川淳一専務理事、北海道建築士事務所協会札幌支部の笠原成悟技術委員長、五十嵐淳建築設計の五十嵐淳代表がそれぞれあいさつし、合格者の今後の活躍にエールを送った。

昨年、宮城県の丸森町をはじめ全国各地で大規模な洪水土砂災害が頻発した。一昨年に引き続き、大規模な水害の恐れを思い知らされた年でありまし

これに対して政府は、全国で頻発、激甚化している自然災害からの復旧

末には3%減の560万平方メートルにする目標値を設定。さらに将来人口推計を踏まえた施設総量の適正規模を確保する。14%減の4000平方メートル、68年度末には5万平方メートルに削減する。5万平方メートルに削減することが見込まれる。

業会計でも年平均754億円減の742億円に半減することが見込まれる。

総合資格学院札幌校合格祝賀会

講師らと喜び分かち合う

総合資格学院

札幌校合格祝賀会

りセンターや児童会館、地区センターなどは小学校や区民センターの建て替え時期に合わせて複合化を検討し、保全や改築の時期を調整する。また小中学校は老朽校舎改築と学校統合を促進し、市営住宅は民間賃貸住宅の活用を促進するなど、公共施設の総量規模適正化に取り組む。

これらの取り組みにより、公共施設の総量は、19年4月1日現在の574万平方メートルから10年後の28年度末には3%減の560万平方メートルにする目標値を設定。さらに将来人口推計を踏まえた施設総量の適正規模を確保する。14%減の4000平方メートル、68年度末には5万平方メートルに削減することが見込まれる。

業会計でも年平均754億円減の742億円に半減することが見込まれる。

総合資格学院札幌校合格祝賀会

講師らと喜び分かち合う

総合資格学院

札幌校合格祝賀会

「この合格は皆さんが大きな苦勞を背負い、多くのことを我慢してつかみ取った結果だと思つ。ここまで長い大変な道のりだったと思つが、人生で大変素晴らしい出来事だと思つ。皆さんの努力に敬意を表したい」

と述べ、合格者をたたえた。合格者を代表して1級建築士の藤澤亮太さん、2級建築士の長瀬智美さんに、真田校長が修了証を授与した。藤澤さんは「講師やスタッフの皆さんのサポートのおかげで合格できたことに感謝したい」、長瀬さんは「学院で培った知識をこれからの業務に生かしていきたい」とそれぞれ話した。

来賓で出席した北海道建築士会の石川淳一専務理事、北海道建築士事務所協会札幌支部の笠原成悟技術委員長、五十嵐淳建築設計の五十嵐淳代表がそれぞれあいさつし、合格者の今後の活躍にエールを送った。

# 2020年1月15日 新聞

## 日刊建設工業場 (札幌会場)

総合資格学院札幌校(真田亮史校長)は13日、札幌市中央区のホテルサンルートニュー札幌で2019年度建築士・宅地建物取引士試験合格祝賀会を開いた。写真。1級・2級建築士など資格試験の合格者やOBなどが参加し、講師やスタッフと共に合格の喜びを分かち合った。

祝賀会で真田学校長は



「この合格は皆さんが大きな苦勞を背負い、多くのことを我慢してつかみ取った結果だと思つ。ここまで長い大変な道のりだったと思つが、人生で大変素晴らしい出来事だと思つ。皆さんの努力に敬意を表したい」

と述べ、合格者をたたえた。合格者を代表して1級建築士の藤澤亮太さん、2級建築士の長瀬智美さんに、真田校長が修了証を授与した。藤澤さんは「講師やスタッフの皆さんのサポートのおかげで合格できたことに感謝したい」、長瀬さんは「学院で培った知識をこれからの業務に生かしていきたい」とそれぞれ話した。

来賓で出席した北海道建築士会の石川淳一専務理事、北海道建築士事務所協会札幌支部の笠原成悟技術委員長、五十嵐淳建築設計の五十嵐淳代表がそれぞれあいさつし、合格者の今後の活躍にエールを送った。

昨年の台風19号は、人的被害だけでなく、生活・社会インフラ面においても、この東北地方に甚大な被害を与えました。当支部では災害協定を締結している国・各県からの支援要請に応えるべく、災害対策現

職業体験などで市民に魅力PR

道・札幌市、建設産業ふれあい展開催

北海道と札幌市が主催する建設業の職業紹介イベント「建設産業ふれあい展」が11、12の両日、札幌市中

建設業協会など18団体から5回目となる。地下歩行空間の大通り北3条間にある10カ所の広場に17ブースを設け、建設関連13団体と道、札幌市が出展した。

北海道型杵工事業協同組合と北海道鉄筋業協同組合、北海道左官業組合連合会、北海道建設作工技建協

札幌建協は、VR(仮想現実)コーナーを出展。小学生らがヘッドセットを装着し

建設業協会など18団体から5回目となる。地下歩行空間の大通り北3条間にある10カ所の広場に17ブースを設け、建設関連13団体と道、札幌市が出展した。

北海道型杵工事業協同組合と北海道鉄筋業協同組合、北海道左官業組合連合会、北海道建設作工技建協

札幌建協は、VR(仮想現実)コーナーを出展。小学生らがヘッドセットを装着し



建設業の職業紹介イベント「建設産業ふれあい展」が11、12の両日、札幌市中

建設業協会など18団体から5回目となる。地下歩行空間の大通り北3条間にある10カ所の広場に17ブースを設け、建設関連13団体と道、札幌市が出展した。

北海道型杵工事業協同組合と北海道鉄筋業協同組合、北海道左官業組合連合会、北海道建設作工技建協

札幌建協は、VR(仮想現実)コーナーを出展。小学生らがヘッドセットを装着し

建設業協会など18団体から5回目となる。地下歩行空間の大通り北3条間にある10カ所の広場に17ブースを設け、建設関連13団体と道、札幌市が出展した。

